

福岡県連盟内 成人指導者各位

公益財団法人 ボーイスカウト日本連盟  
福岡県コミッショナー 郡島 三 暁

**現時点における能登半島地震にかかる本県連盟内の奉仕に関する基本的な対応について  
(指示とお願い)**

三指

新春の候、県内成人指導者の皆様には、日頃よりスカウト運動の発展にご尽力いただき、感謝申し上げます。今年もよろしくお祈りいたします。

さて、皆様ご案内の通り、本年元日に発生した能登半島地震は、現地に甚大な被害を及ぼしました。現在も余震が続いており、予断が許されない状況です。

本県連盟内においては、スカウトスピリッツに基づき、すぐにアクションを起こそうとしているスカウトも多数いると考えます。スカウトの奉仕活動に際しては、まもなく日本連盟からもなんらかのアクションがあると考えられますが、本県連盟内においては、当面の間、下記の方針に基づいて行っていただきますようお願いいたします。

彌榮

**記**

1 スカウト発意の奉仕活動においては、スカウトの思いを大切にしながらも、安全を第一に活動を展開するように支援すること。

(1) 休日を利用した現地へのボランティア活動を計画・実施の場合は、現地にボランティアの受け入れができてから行うように支援、指導すること。

1月2日現在、一次支援が中心で、ボランティアの受け入れはできない状況です。ボランティアセンターが立ち上がって活動を行うようにご助言ください。

(2) 支援物資を現地へ送る活動を計画・実施する場合は、物流の状況に鑑み、需要物資および受け入れ先を十分確認の上でおこなうこと。(別添1参照)

ただし、先行して支援物資を収集する活動を展開することは問題ありません。詳しくは以下のホームページをご参照ください。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/saigai/202401jishin.html>

(3) 募金活動を計画・実施する場合は、募金の目的を明示し、送金先は県連盟理事長からの指示にしたがうこと。

県連盟としてとりまとめて送金することが確実に被災地を支援します。義援金詐欺が既に横行しています。ただし、団や隊の事情によって送金先が決まっている場合はその限りではありません。

(4) 奉仕活動を実施した場合は、地区コミッショナーに報告すること。

県連盟として活動内容を把握します。可能であれば、個人の活動もご報告ください。

2 発災後の、最初のスカウト活動においては、黙祷並びにスカウトズタウンサービスを行うこと。

スカウトとして、被災地に心を寄せるようにご指導ください。すべての部門で行ってください。

【トピックス3】 救援物資の受入れ・仕分け（能登半島地震と新潟県中越沖地震の違い）

無料のゆうパック（旧郵便小包）による個別の救援物資受け入れが、被災地を襲う第2の災害になることが知られ、鳥取県西部地震後の鳥取県や新潟県中越地震後の長岡市が地域防災計画にゆうパックの無料受け入れをしないことが明記されたこともあって、2007年の能登半島地震や新潟県中越沖地震では受け入れておらず、個別の救援物資のさばきに悩まされることはなかった。

能登半島地震で石川県は、企業からのまとまった物資支援の申し出は、県でまとめて受け付けて、必要なものを市町に届けることにした。これは、1997年の日本海の重油災害の際に、救援物資で自治体が混乱した経験から作りだしたという。県で受け付けた情報を整理して市町にFAXで送り、市町からの連絡を受けて申し出てきた企業などに自治体の連絡先窓口を伝える仕組みである。地震から3カ月で481件の申し出があり、148件が実際に届けられている。個人からの申し出は、ほとんどがニーズにはマッチしなかった<sup>1)</sup>。

新潟県中越沖地震では、柏崎市が地震当日の夜、ホームページで「下記の通り物資が不足しています。他市等へ至急、支援を要請いたします」として、「毛布多数、敷きマット多数、ブルーシート多数、水多数」などと列挙した。

関係省庁連絡会議の場でも、地震翌日から4日間かけて地元自治体からの支援物資への提供要望の対応を調整。対象になったのは、ブルーシートや紙おむつ、ウエットティッシュ、消毒液などで、関係省庁から業界団体を通じた無償提供や自治体の備蓄品の被災地向け放出を要請。地震翌日の夜には、総務事務次官と消防庁長官の連名で、各都道府県知事、政令市長に対し、物資などの積極的な支援を要請する通知が出されている。

当時、災害救助基金を充てた地元向けの備蓄品を半ば強制的に放出せよという通知を受けた都道府県などからは、「業者に発注できるのに、なぜ災害救助法で対応しないのか」と疑問の声も出た。実際、ブルーシートは業界団体提供と国交省備蓄分で概ね足りたため、消防庁経由で放出を求められた都道府県や政令市備蓄分の大半は、結果的には被災地には送られなかった。関係業界に無償提供を求めた省庁でも、全量無償はできないと断られたケースもあった。

被災自治体への物資の無償提供は、関係省庁連絡会議の場では「総理指示」と説明されており<sup>2)</sup>、関係省庁や都道府県、政令市が官邸主導の「救援物資」騒動で振り回された形となった。

平成19年(2007年)能登半島地震  
救援物資申出一覧  
今日23日19時現在  
延べ464件(うち対応済 138件)

受付日時	提供者(※登録済)	内容	種類	対応	備考
75/3/27	日本製薬製薬(株)	マステゲンアイ内服液(3種類)(ピタミンB1を主薬とした発熱剤)7名単位で提供可	医薬品	市町へFAX済み	
143/3/28	匿名	紙マスク1,000枚程度	医薬品	市町へFAX済み	
150/3/28	日野製薬(株)	胃腸薬(560錠)×120本	医薬品	市町へFAX済み	
348/4/4	(株)スバイラルの田中	スバイラル(バランスサポート)錠先タイプ500錠(M,L両剤)(エコーミー錠群に効果あり)	医薬品	市町へFAX済み	
389/4/6	(有)ブックサポート	消毒消毒液(10L入)4個 専用スプレー12本	医薬品	市町へFAX済み	
11/3/26	匿名	衣類(男女) 保存食(米)	衣料品	市町へFAX済み	
25/3/26	匿名	ハーブコート、防寒着 (クリーニング済)	衣料品	市町へFAX済み	
47/3/26	シャルレ代理店 (株)ルスール (東京都)	シューズ、肌着、靴下等の下着類	衣料品	市町へFAX済み	
95/3/27	今西	毛糸の靴下(大人用)10足、 マフラー10枚、ショール5枚	衣料品	市町へFAX済み	
100/3/27	やまもと	衣類20着ほど	衣料品	市町へFAX済み	
102/3/27	匿名	男性用下着(L又はLL) 長袖シャツ15枚、半袖シャツ 2枚、ランニング2枚、ブリーフ	衣料品	市町へFAX済み	
111/3/28	匿名	こどものおむつ こどものおもちゃ 肌着、衣類その他	衣料品	市町へFAX済み	

柏崎市  
お問い合わせ

ホーム | < 暮らし | お知らせ | 行事案内 | 手続き・申請・業務案内 | 市役所・施設

ホーム > お知らせ > 柏崎市災害対策本部より他市等への支援要請  
最終更新日時: 2007年7月16日(月曜日) 19時30分 ID: 3-1

◆ 柏崎市災害対策本部より他市等への支援要請

柏崎市災害対策本部では下記のとおり物資が不足しています

- ・毛布 多数
- ・敷きマット 多数
- ・ポータブルトイレ 多数
- ・ブルーシート 多数
- ・男女プライバシー保護用の仕切り版等 多数
- ・水 多数
- ・食料 多数
- ・ガソリン 多数
- ・発電機(業者等を含む) 多数
- ・6リットルポリ袋 10,000袋
- ・2リットルペットボトル(水など) 10万本

柏崎市災害対策本部より他市等へ至急、支援を要請いたします。

写真1 (左)石川県のホームページから、(右)柏崎市のホームページから

(出典) 1) 中越発 救援物資はもういらない!?, 22 ページ, 震災がつなぐ全国ネットワーク, 2008年、2) 【会見詳報】新潟県中越沖地震関係省庁連絡会議終了後レク(7月19日), 防災リスクマネジメ、2007年、http://bousai.jij:71901.html